

最大600万円を助成

# 業務改善助成金

中小企業事業者の皆さんへ

賃金引上げを支援する助成金を積極的に利用しましょう。

業務改善助成金の動画もあります。



「業務改善助成金」は、生産性を向上させ

「事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）」の引上げを図る

中小企業・小規模事業者を支援する助成金です。設備投資などを行なった場合、

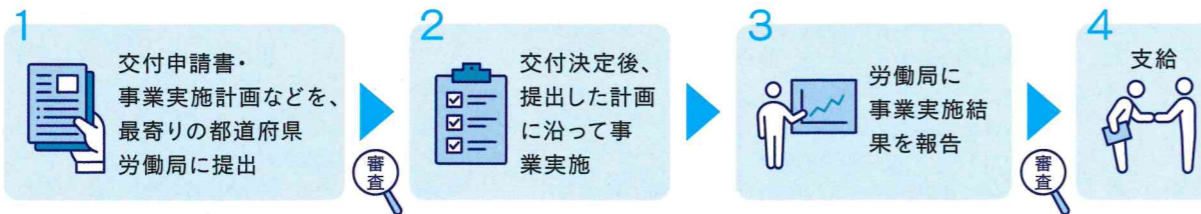
支給の要件に応じてその費用の一部を助成します。詳しくは、[こちら](#) [業務改善助成金](#) [検索](#)

## 支給の要件



設備投資等に要した費用の一部を助成

## 助成金支給までの流れ



## 助成額の一覧

コース区分	引上げ額	引き上げる労働者数	助成上限額	助成対象事業場	助成率
20円コース	20円以上	1人	20万円	以下の2つの条件を満たす事業場 ・事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が30円以内 ・事業場規模100人以下	事業場内最低賃金900円未満 4/5 生産性要件を満たした場合は9/10(※2)
		2~3人	30万円		
		4~6人	50万円		
		7人以上	70万円		
		10人以上(※1)	80万円		
30円コース	30円以上	1人	30万円		
		2~3人	50万円		
		4~6人	70万円		
		7人以上	100万円		
		10人以上(※1)	120万円		
(新設) 45円コース	45円以上	1人	45万円		
		2~3人	70万円		
		4~6人	100万円		
		7人以上	150万円		
		10人以上(※1)	180万円		
60円コース	60円以上	1人	60万円		
		2~3人	90万円		
		4~6人	150万円		
		7人以上	230万円		
		10人以上(※1)	300万円		
90円コース	90円以上	1人	90万円		
		2~3人	150万円		
		4~6人	270万円		
		7人以上	450万円		
		10人以上(※1)	600万円		

(※1) 10人以上の上限額区分は、以下いずれかに該当する事業場が対象となります。  
①賃金要件：事業場内最低賃金900円未満の事業場 ②生産量要件：売上高や生産量などの事業活動を示す指標の直近3ヶ月間の月平均値が前年又は前々年の同じ月に比べて、30%以上減少している事業者  
(※2) ここでいう「生産性」とは、企業の決算書類から算出した、労働者1人当たりの付加価値を指します。助成金の支給申請時の直近の決算書類に基づく生産性と、その3年度前の決算書類に基づく生産性を比較し、伸び率が一定水準を超えている場合等に、加算して支給されます。

## 業務改善事例①

### テーブルオーダーシステムの導入による注文業務の効率化と会計の見える化

企業概要/所在地：福岡県  
従業員数：9人  
事業：飲食業

**課題** オーダーの聞き間違い等を解消し、従業員  
の負担軽減を図るため、設備投資による作  
業効率化を検討してきた。  
**対応** 注文に要する時間を削減し、テーブルごとの料金管理を図りた  
いと考える。そこで、助成金を活用してセルフで注文できる  
テーブルオーダーシステムを導入した。

**代表者の悩み** ホールスタッフの注文を取りに行く作業を減らして、回転率を向上させたい。



**実施内容** テーブルまで行き注文を取っていたが、**テーブル  
オーダーシステムの導入**で顧客が自ら注文を入力で  
きるようになり、オーダーと会計が正確になったこと  
で従業員の負担軽減が図られた。  
**成果** 注文業務の効率化により生産性が向上し、**3人の従  
業員の時間給（事業場内最低賃金）を90円引き上  
げた**。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の  
賃金の引き上げも実施した。

助成金活用のきっかけ インターネットで、飲食業で活用可能な助成金を検索。

## 業務改善事例②

### スチームコンベクションオープンの導入による生産量の増と調理工程の簡素化

企業概要/所在地：宮城県  
従業員数：6人  
事業：仕出業

**課題** 調理人の熟練度や人数によって調理の  
質や量にばらつきが出るため、設備投  
資による業務効率化を検討してきた。  
**対応** 熟練者以外でも少人数で大量の調理を可能にしたいと考える。  
また、焼く・蒸す等の調理工程を簡素化したいと考える。そこで助  
成金を活用してスチームコンベクションオープンを導入した。

**代表者の悩み** 今までのガス調理の負担を減らし、効率よく量産したい。



**実施内容** **スチームコンベクションオープンの導入**により、火加減の  
調整が省け、**調理ミスによるロス率も減少**した。調理人  
の熟練度や人数に左右されることなく、空いた時間で他  
の作業もできるようになった。  
**成果** 生産量の増と調理工程の簡素化より生産性が  
向上し、**6人の従業員の時間給（事業場内最  
低賃金）を50円引き上げた**。

助成金活用のきっかけ 商工会のセミナーに参加。

## 相談窓口

業務改善助成金コールセンターを開設しましたので、お気軽にお問い合わせ下さい。

電話番号 03-6388-6155 受付時間 平日8:30~17:15

専門家による無料相談を実施しています。

詳しくは、[こちら](#) [働き方改革推進支援センター](#) [検索](#)



## 働き方改革推進支援資金

日本政策金融公庫では、事業場内最低賃金の引き上げに取り組む者に対して、設備資金や運転資金の融資を行っています。詳しくは、事業場がある都道府県の日本政策金融公庫の窓口にお問い合わせください。

詳しくは、[こちら](#)

[働き方改革推進支援資金](#) [検索](#)